

三鷹市立第六小学校 令和8年度【図画工作】授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年		<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○制作活動に意欲的に取り組んでいるが、発想や表現方法が固定化しやすい児童がいる。 ○技法や材料の特性を理解し、自分の思いにあった表現を選択して、作品作りができる。 ○作品鑑賞では、自分の作品への感想をもてるが、友達の仕事の良さや工夫を具体的に捉えて伝えることが難しい児童がいる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりが自分の思いやイメージを主体的に表現できる力が不足している。 ○作品の良さや工夫を認め合い、対話を通して学びを深める鑑賞活動の時間が確保できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎児童の学びのヒントになるように、作品のもととなる例をいくつか提示し、思いつくことを発表し合う時間を設定し、いろいろなことができることを想像できるようにする。 ○児童の考えやよいところを取り上げたり、板書したりして、児童がいつでも参考にできるようにする。 ○学習形態を工夫し、友達と関わり合いながら、学習に取り組むことができるようにする。また、適宜友達の作品を見る時間を設定し、参考にして、想像を広げられるようにする。 ○鑑賞時間を題材ごとに設定し、友達の作品を見る観点を提示して言葉にしやすくするようにする。 ○制作時間・片付け時間などを板書し、2時間の授業の活動時間を把握して切り替えができるようにする。
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業の流れを提示し、いつでも確認できるようにしたこと、見通しをもって学習を進めることができた。座席を工夫することで、友達と関わり合いながら、学習に取り組むことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表したいイメージをつかめない、表したことを言葉で伝えることに苦手意識をもつ児童もいる。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○工作や絵など、何かを作ることが好きで、作品作りに意欲的に集中して取り組む児童が多い。 ○作品を見て感じたことを表現したり、友達の作品に興味をもって感想を伝えたりすることができる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道具の準備を苦手としている。 ○楽しんで作業を進めている児童がいる中で、表したいイメージをつかむまで、時間のかかる児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎題材やめあてに対して学習のヒントになるように、児童の考えやよいところを取り上げたり、板書したりして、児童がいつでも参考にできるようにする。 ○見通しももてるように、作品作りのタイムスケジュールを提示して、安心して取り組めるようにする。 ○自分の思いを深めたり、広げたりするために、作品鑑賞の時間を大切に、感想や思いを伝え合う時間を設ける。
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今までの活動や技法を活かして楽しみながら、意欲的に取り組む様子が見られる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○どの児童も意欲的に楽しんで取り組むような、題材や材料の選び方を工夫する。 ○忘れ物が多い。 ○時間内に作品を作り終えることができない児童がいる。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○工作や絵など、何かを作ることが好きで、意欲的に集中して取り組む児童が多い。 ○今までの技法を思い出して、試しの活動を楽しみ、作品作りに活かしている。 ○友達とかかわりながら友達のよさを伝えたり自分の作品と比べたり参考にしたりして、制作活動に取り組んでいる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○楽しんで製作を進めている児童がいる中で、表したいイメージをつかむまで、時間のかかる児童もいる。 ○作品を見て感じたことを表現したり、友達の作品に興味をもって感想を伝えたりすることが苦手な児童がいる。 ○時間内に作品が作り終わらず、雑な作品に仕上げてしまう児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎作品に対して、鑑賞する観点を伝え、自分の感じたことを述べたり他者の発言を集中して聞いたりし、感想や思いを伝え合う時間を設ける。 ○学習形態を工夫して、お互いの学び合いの場になるように、授業中に友達の作品の面白さやよさを取り上げる。 ○題材やめあてから発想や思いが広がるような声掛けをする。 ○様々な大きさの紙をたくさん用意し、試しの時間を十分に、想像しやすくするようにする。 ○制作時間・片付け時間などを始めに伝え、2時間の授業の活動時間や題材にかかる時間を把握できるように見通しをもたせる。
第4学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○どの題材でも意欲的に取り組むことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見通しをもって作品を完成させることができない児童が各クラスに数名いる。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○興味関心が高く、意欲的に取り組むことができる児童が多い。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主体的に活動ができる一方、表したいことが多様化し、制作期間内に終わらないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎見通しももてるように製作期間内の内容や手順を板書しているが、さらに毎回振り返りをするすることで、現状の把握と次回につなげられるきっかけをつくる。 ○教室の場の設定を材料を置く場所を前方に、できた作品を後方に置くことで教室全体の流れのなかで鑑賞活動を自然に取り入れるようにする。
第5学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新しい道具や表し方を学び、自分の作品にいかせることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○感じたこと、想像したことを言葉にして伝えることが苦手な児童が多い。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○既習事項を生かして表したいことを表すことができている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分なりの思いや考えをもち、表現することはできるが、感じ取ったことや思ったことを言葉で整理するなどの言語活動能力が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の作品や美術作品などについてどのように感じ、思ったのか、根拠や理由を具体的に問いかけたら、適切な人数で話し合ったりするなどの対話的な活動を取り入れる。 ○ワークシートを適宜用いて言葉で表す習慣をつけられるようにする。
第6学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他者の作品や美術作品の鑑賞から自分なりの見方や考え方を広げることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インターネットから資料を検索するなど表すことに自信のない児童が一定数いる。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○つくりたいものに合わせて材料や道具を工夫して扱うことができる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○失敗することを恐れたり、他者からの評価を気にしてしまう傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎何度も試して、つくってつくり変えることのできる題材を取り入れ、粘り強く取り組めるようにする。 ○絵や工作に表す作品では、試すことができる材料をたくさん用意して失敗を恐れずに試作しながら表現方法の多様化にもつなげるようにする。 ○制作過程での鑑賞活動では、お互いの作品のよいところや自分では気付かない新たな発想などを伝え合う時間を取り入れる。